

「胞状奇胎組織の全ゲノムSNPsアレイ解析による続発性疾患発症予測」に関する研究

1. 研究の対象

2007年4月～ 千葉大学医学部附属病院婦人科を受診し、胞状奇胎のために子宮内容除去術等を受け、「胞状奇胎が疑われる異常妊娠における、DNA多型解析」研究に同意の上参加していただいた方

2. 研究目的・方法

胞状奇胎から侵入奇胎になる患者さんに特徴的なSNP（一塩基多型）、遺伝子増幅や欠失などがあるかを調べます。当科で行われている研究「胞状奇胎が疑われる異常妊娠における、DNA多型解析」に参加いただいた患者様で、将来の研究への検体利用に同意いただき、匿名化され保存させていただいている患者様の絨毛DNAを使用します。匿名化して、全ゲノムレベルのSNPアレイという方法で研究を行います。解析は、共同研究を行っている成育医療センターと千葉大学大学院医学研究院生殖医学研究室で行います。

研究期間：2012年～2020年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：絨毛DNA

情報：匿名化の上解析されたSNPアレイデータ等

4. 外部への試料・情報の提供

試料を匿名化の上、共同研究機関および民間外部委託解析機関で解析を行う

共同研究機関： 成育医療センター周産期病態研究部（秦健一郎 部長）

公共ゲノム・遺伝子データベースへの登録

本研究では、個々のアレイ解析等のデータを匿名化した状態で、公共ゲノム・遺伝子データベースである、米国の国立バイオテクノロジー情報センター（National Center for Biotechnology Information (NCBI): <https://www.ncbi.nlm.nih.gov>）に登録を予定しております。公共ゲノム・遺伝子データベースに登録されたアレイ解析データ等は保存・共有されます。データベースに登録されると、研究結果が科学的に正しいか評価をするために、第三者による検証が可能となります。また、データを共有することは、今後の医学研究の発展を図る上で重要と考えられます。

5. 研究組織

千葉大学大学院医学研究院 生殖医学 講師 碓井 宏和

千葉大学医学部附属病院 婦人科 科長 生水 真紀夫
成育医療センター 周産期病態研究部 部長 秦 健一郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
研究責任者

千葉大学大学院医学研究院生殖医学 講師 碓井宏和
千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
043 (226) 2121 内線5312